

新基地建設反対名護共同センターニュース

8月11日に県民大会開催へ

「原点は建白書 県民はあきらめない」
 辺野古の新基地建設に反対する「オール沖縄会議」は20日、那覇市内で記者会見し、辺野古沖の埋め立て土砂投入に反対する県民大会を8月11日午前11時から、那覇市の奥武山陸上競技場で開催すると決めました。目標を3万人以上とし、翁長雄志知事にも参加を要請するとしています。
 高良鉄美共同代表は「原点は建白書だ。辺野古に基地を造らせないという県民の思いをあらためて示したい。(政府の) 基地建設強行のおかしさと、(県民は) 諦めないということを訴えたい」と述べ、参加を呼び掛けました。



- ◆大会名称 土砂投入許すな 県民大会 (仮称)
- ◆日時 8月11日 (土) 11:00~12:00
- ◆会場 奥武山陸上競技場 (ゆいレール壺川下車)
- ◆規模 3万人以上 (各地域からバスが出る予定です)

「辺野古の海へ土砂投入ゆるさない」
奥武山陸上競技場に3万人以上で



7月7日は2000人規模のゲート前県民集会

オール沖縄会議は、7月7日(土)にキャンプ・シュワブゲート前で「ジュゴンを守れ 土砂投入を許さない辺野古新基地建設断念を求める県民集会」を開くことも決めました。2,000人以上の参加をめざします。オール沖縄会議の山本隆司事務局長は「辺野古新基地を造らせなかったたかいは山場に来ている」と一連の行動や大会を通じて改めて県民世論を喚起し、新基地阻止の流れをつくりたいとの考えを示しました。

6・25の海上座り込み行動に参加を!

昨年4月25日から護岸工事を強行した25日に合わせて海上からの大規模な抗議活動を6月25日(月)に行います。抗議船やカヌーから工事現場付近で抗議行動を展開します。海上行動参加希望の方は、辺野古漁港近くのヘリ基地反対協テント2へ午前7時集合です。

午後1時から辺野古の浜で連帯集会

午後1時から辺野古の浜で海上行動との連帯集会を行います。抗議船やカヌーに乗らない方も連帯集会にご参加ください。



海亀の住む海を破壊 米水陸両用車の訓練

「許せない! 辺野古の海岸荒らし」

当共同センターのスタッフが19日、米海兵隊の水陸両用強襲輸送車 AAV7 の走行訓練を久々に目撃しました。場所はキャンプ・シュワブ内の辺野古の浜です。AAV7 は、水陸両用強襲輸送および装甲兵員輸送を任務としています。この日、浜の砂を巻き上げての AAV7 の走行訓練と合わせてゴムボート (GB) での奇襲上陸訓練も行っていました。

この動画をFBで見たある女性は「ここは、ウミガメが産卵する浜です。重い AAV7 は浅瀬の藻場をキャタピラーで踏み荒らし、海水は茶色に濁り、ジュゴンのえさの海草 (うみくさ) があたり一面に浮かびます。AAV7 の訓練は重大な環境破壊で許せません」とコメントしました。

